



社会医療法人  
同仁会  
Dojinkai  
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

# 同仁会報みみはら

2019年6月1日発行

第80号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2  
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL http://www.mimihara.or.jp (同仁会HP)

## 沖縄の「民意」辺野古新基地建設反対の運動に連帯して

みみはらグループ

### 引き続き行動支援するとともに 情報発信のコーナーを病院に設置

全日本民医連は、沖縄の基地建設反対運動に連帯した、辺野古埋め立て抗議行動の支援を行なってきました。みみはらグループでも、辺野古連帯支援行動に参加。この5月と6月にも職員を引き続き派遣します。

戦後74年目を迎えた現在、日本の国土面積の0.6%の沖縄県に、在日米軍基地の面積74.5%が集中しています。これらの基地は沖縄本土では、都市機能、産業振興、土地利用に大きな影響を与えています。さらに、米軍基地関連の事件・事故が多発し、45年間に米軍機の墜落は47件、凶悪犯罪は576件とあつを絶ちません。



出典 沖縄県基地対策課「沖縄の米軍基地」

1995年9月、米兵3人による12歳少女暴行事件が発生し、翌年4月橋本総理とモンデール駐日大使が普天間飛行場の返還に合意しました。衆院沖縄3区の補欠選挙（4月21日投票）では、米軍普天間基地に代わる辺野古新基地建設に反対する「オール沖縄」の屋良朝博氏が、安倍政権が全面支援した候補を破り、初当選しました。安倍政権が強行に押し進める新基地建設に反対し、昨年9月の県知事選挙、今年2月の県民投票に続き、三たび「ノー」の審判を明確に下したもので、県民の大勝利です。辺野古の埋め立て予定海域には難工事が必至の軟弱地盤が広がっており、安倍政権は完成時期も、全体工事費も示すことができません。代替地は「辺野古唯一」という政策の破綻は明白です。

### こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより

55 特別体制で臨んだ  
ゴールデンウィーク中の現場から  
新天皇即位に伴い10連休となった今年のゴールデンウィーク。各事業所は、大型連休中であっても医療・介護サービスの維持のため奮闘しました。外来診療は、耳原総合病院が4月30日、5月2日、5月6日の3日間、その他の診療所では4月30日と5月6日の2日間、通常診療を行ないました。

〈総合病院・救急外来〉  
心肺停止の状態でもERに搬送された20代後半の患者さん。スタッフ一丸で蘇生処置を行い、気管内挿管を行いICUで管理となりました。その後無事に意識が回復して人工呼吸器管理から離脱、後遺症もほとんどなく回復することができた、との嬉しい報告を受けました。

また、ゴールデンウィーク後半は入院ベッドの空きも少ない中、多くの患者さんの入院受け入れに地域支援病院の連携、協力いただきました。5月4日にS病院からの転送依頼を受け入れした患者さんには、連休明けにS病院の看護師さんから「転送依頼で師さんからお電話での対応、ERでの医師・看護師の対応などすべてにおいて丁寧に対応していただいた」とのお礼の言葉が届けられました。

通常でも救急要請に積極的に対応し、堺市の救急医療を支えている耳原総合病院ER（救急外来）では10連休中の受入総数が176件にのぼり、特に5月4日は29件もの救急要請にこたえて奮闘しました。

〈介護現場〉  
介護の現場では普段から24時間365日の対応を行っており、連休中も緊急連絡体制をとりながら利用者さんへのサービス提供を維持しました。

老健、各事業所では外来診療日に合わせて事務職員やケアマネージャーなども出勤。連休中は入退院の支援や急なサービス調整が難しくなるのですが、出勤体制をとる中で緊急ショートステイへの対応をとることができました。また、祝日は通所サービス（デイケアなど）は普段でも営業を行っていますが、これまで訪問リハビリは行っていませんでした。ゴールデンウィーク中、今回はじめて日曜日を除いた祝日に訪問リハビリを実施。連休中もリハビリ提供を行い利用者さんから非常に喜ばれました。

長期の休みであっても、医療や介護の現場は休むわけにはいきません。特に大きな問題や事故の発生なく、無事に連休をのりこえた現場の皆さんの尽力に感謝します。

